

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2022年 3月 27日

「2022年度郡山総合車両センター業務について」

に関する申し入れ

団体交渉②

(4項)他会社から業務を委託すると共にGFPを活用し稼ぐ郡山総合車両センターを目指すところがあるが、見込まれる他会社からの受託工事とGFPの内容を明らかにすること。

(回答)他鉄道会社等から業務委託する計画である。また、GFPは増収・コストダウンを実現するためのアイデアを提案し、提案者自らが中心となり施策化・事業化していく取り組みである。

・受注については、引き続き行う。・GFPについては、2021年で2回行い120万円以上の収入を上げている。途切らせることなく、色々行っていきたい。ノウハウを積み上げ、仕組みづくりの話をしている。もっと増えるかもしれない。必要なバックアップは行う。

(5項)計測器校正の業務委託にあたっては、「実作業の委託」と説明を受けたが、実作業と立案・計画・調整業務の切り分けが難しい部分もあるため、事前に相当な期間を持って現場社員への説明し、偽装請負となるような事象が生じないようにすること。

(回答)引き続き、グループ会社と一体となった効率的な業務執行体制を構築していく考えである。

・委託する業務の具体的内容は、計測器校正の実務を話している。
・1月28日に現場では委託されることを話されている認識。
6月1日まで必要な説明は行う。フロー図は今作成中。
・受託会社では受託業務を行うが、受託会社が独自で行っている校正をどこで行うかは、受託会社の判断となる。
・基準器は、JRでレンタルしているが、故障対応などについては、郡山総合車両センターと打ち合わせを行い、改めて話をする。説明の機会をつくる。
・報告書の作成、合格証の発行はどこでつくるのか、周知する。

(6項)主電動機の絶縁更新に関わる業務の委託にあたっては、1日あたりの最大生産能力を明らかにする事と共に、受託した作業の平準化に努めること。また、現在作業分担しているグループ会社の作業環境を改善すること。

(回答)必要な対応は実施していく考えである。

・現場説明は、4月の段階で実行計画において説明し、必要の都度、説明する。(9月1日から実施)
・箇所体制の△5となっているが、受託会社で人員を配置する。作業人数を定めるものではない。
・トライアルを行い、支社としての認識は、設備的には一日3台の一定の目途はついている。しかし、2022年度3台行うかは、モーターの生産計画として450台前後の為、月40いかないくらいなので一日2台ずつとして、増産の計画まで行っていない。
・受け取れない台数の計画は立てない。企画科が受注し、施工科から受託会社へ委託する。が企画科で受ける、受けないの判断となる。生産計画は施工科で行う。他会社の受け入れはない。
・洗浄不具体の手直しの委託後の対応は、認識して対応する。
・受託後のフローも必要な対応はとる。